



議会だより

まもれ荒川



荒川水防訓練 611名参加 (6月13日)

| | | | |
|--------|--------------------------|------------|-----------|
| 6月定例議会 | “キモマノーデ” の挑戦に72万円 | | 2~3 |
| 一般質問 | 2名登壇 | ~ 村政をただす ~ | 4~5 |
| 村民の声 | 「希望の村・関川」 | | 6 |

6月定例議会

720,000円

平成22年、第3回定例会が6月9日から17日まで開かれました。2名の議員が一般質問を行いました。

報告5件、専決処分の承認9件が本会議で処理され、条例改正5件、総合整備計画の策定案件5件、補正予算2件が委員会付託の後、原案どおり可決されました。

最終日には関川小学校のプール工事請負契約が追加提案され原案どおり可決されました。

請願1件、陳情1件も委員会付託を経て採択され、意見書の提出が発議され可決、関係機関にそれぞれ提出されました。

辺地が拡大

総合計画の策定は法律に基づき3年に一度見直され、今年が見直しの年になります。小学校の統合により、辺地に指定される集落が拡大しました。関川村の辺地は幾地、七ヶ谷南部(大石・金俣)片貝(片貝・沼・間出)金丸(金丸・八ツ口)



上野新農業センターの育苗ハウスで栽培されているトマトと大島毅彦さん(上野新)

女川東部(蛇喰・上野・小和田・中東・田麦千刈・蕨野・上新保)の5地区になります。辺地になると辺地債という地方債が認められます。辺地債は後年度に8割が交付税で補填される大変有利な地方債です。

一般会計

4180万円追加

一般会計の補正予算は、児童手当から子ども手当への組みかえが主なもの。

その他には、農業振興費の農商工連携補助金72万円で、昨年度より実施している「キモモノデー」への補助金。今年度は原材料になるトマトの栽培にも挑戦！加工用トマト・シシリアニルージュの苗50本を上野新農業センターに委託栽培してもらっている。その栽培は農家の手取りを多くするために、支柱を立てずに地をはわせるものだ。「手間・金かけずに生産者がもつかるようにする事をめざしている。」とトマト栽培を受

農商工連携

キモマネーデ

に



ふるさと農園 駐車場

ふるさと農園 駐車場整備

昨年度、国土交通省で整備したふるさと農園に150万円分16台分の駐車場を舗装します。

託している大島毅彦さんは語ってくれました。また、「猿害で使えない柿をなんとか使えるように工夫したい。」と農林観光課の担当職員は語ってくれました。

上関住宅 食堂を居室に

利用者がいなくなった食堂を改修し居室を一室増やします。500万円。



改修予定の食堂

大島集落センター 外壁張替に補助

むらづくり総合推進事業補助として大島集落センター外壁張替え工事に補助します。事業費の4割にあたる約94万円。非常口の階段の補修、塗り替え工事も行います。

玉郷立ほ場及び 中東林道を視察

定例会最終日の6月17日、委員会の村内視察を行いました。場所は森林管理道蛇喰・中東線と玉郷立地区ほ場です。どちらもまだ竣

工していませんが供用開始されており。中東では森林組合が伐採の仕事をしていますし、玉郷立では田植が終わっていました。



全自動給水装置が設置された玉郷立



村が一望できる所に竣工記念の広場が作られました

質 問



津野 庄衛 議員

廃校舎跡地活用は外野にも発信を 後日、利活用について基本方針を示す

議員 廃校舎跡地活用は高校、大学等の部活動、合宿活動や都会の人向けの自然学校として広く誘客活動はできないか。

また、ふる里会員にも大いに宣伝を。

村長 先の議会で学校跡地は学校教育から社会教育の施設に条例を一部改正した名称も、ふれあい自然の家」とし、生涯学習、社会福祉の向上を目的とした。指摘の大きな活用については部会を設置して近いうちに基本的な方向を示す。提案についてはいろいろなお機会に周知したい。

教育長 これまでの実績として旧女川中学校では昨年度、新潟商業高校吹奏楽部

と万代高校のソフトボール部が合宿した。旧川北小学校では既に今年度から、「放課後子ども教室」を実施している。また、地域住民によるゲートボール、バレー、卓球、消防の訓練などに利用している。



放課後子ども教室

「コミュニティの自立支援と活性化対策について 村税1%の使途は

ばらまきでは効果が出ないので事業を公募する

議員 村税の1%を地域の活性化となる事業への助成は、以前作成した「集落活性化計画」にある各集落にある有形無形の宝ものを掘り起こすことへ成すべきだ。

活性化を成功させるには理想だけではつながらぬ。

自立支援という仕掛け人が必要だ。情報に詳しい村職員が働きかけが必要ではないか。

村長 村税1%、700万円の執行については、村づくり総括本部で対象事業の実施要項を検討中である。来月までに事業の募集を始め、採択については行政だけでなく、各コミュニティの代表等で構成する審査会を設けて、提案者が説明して採点する方式を取り入れたいといま模索している。「集落活性化計画」にある「むらづくり54作戦」には賛同

するが、実施するにあたり地域の活性化になるものであるかどうか重要である。単に公平というばらまきというわけにはいかない。村づくり推進

本部の動きを見守っていきたい。

また、活性化を進めるうえで行政としては、実施可能な事業が活性化につながるものであれば積極的に支援したい。これが基本的な方針でご理解いただきたい。

関川小のグラウンド整備に植樹を 桜の植樹を含め整備する

議員 以前関小学校には1000年の歴史を見てきた桜があったが、グラウンド整備のため伐採されたことは誠に残念なことである。

児童の情操教育の面からも桜の植樹をお願いしたい。

村長 植樹については同感である。近所の耕作している方々から日照り等の問題で要望があり現在のような状況になっている。

教育長 現在のグラウンド整備は土砂の搬入が大半が終わっ

た。今後は面積1万平方メートルに200メートルのトラックを整備し、100メートル走路、砂場、遊具、バックネット等を設置する。国、県の内示通知が入り次第、入札に執りかかる。

桜の件については、隣接する農家から危険だという指摘を受けたので伐採した。今後の植栽については、「緑の百年物語緑化推進委員会」にお願いで、ソメイヨシノ、しだれ桜を20数本予定している。

般



渡辺秀雄
議員

子宮頸がんの予防費全額助成を

早急な取組みをし全額助成したい

議員 専門家によ

ると子宮頸がんは「予防すべき疾患」で予防ワクチンが有効であり、早期発見・早期治療という考え方はもう古く、世界では予防接種を行っているない国の方がどん

どん少なくなっている状況

とのことです。そこで、村は子宮頸がんの予防費を全額助成する考えはあるのか。また、全額助成する場合の経費について伺う。

る。接種により発症は7割

減少されるといわれており、村ではワクチン接種に大きな関心を持って検討している。準備が整えば年度内の早い時期に実施したい。なお、費用は関川中学校の女子生徒全員で97人、全員希望した場合は440万円かかる。来年度からは1年生だけが対象となるので140万円かかる。

徹底せよ!! AEDの保守管理

定期的な点検を実施している

議員 自動体外式除細動器

(AED)は県内でも使用件数が年々増えているとのことですが、緊急時に故障で作動せず役に立たなかったという事例が報道された。AED本体の耐用年数は6年で、バッテリー等の部品はそれより短い期間で交換する必要があるが、村では現状をどのように把握しているか。

また、緊急時には気が動転し操作も思うようにいかなくなるので、講習会を実施していく必要があるのではないか。

村長 村内の設置状況は、診療所などの村有施設で5カ所あり、その他に垂水の里、愛広苑に各1カ所ある。村有施設に設置したもののうち、診療所設置分は村所

有のため、村が定期的にセルフチェックリストに基づき点検している。その他の4カ所はリースのためリース業者が点検している。機器については十分に熟知する必要があるので、講習会を役場の職員や一般の人を対象に何回か実施している。また、各集落の防災訓練でも実施した事例がある。



検診車



検診風景



村民会館設置AED

村民の声

希望の村・関川

かわ さき てつ や
川 崎 哲 也 さん
(鮎 谷)



「おめさん、はつめだのお」「はい?」「はつめだでは」「はい?」関川村に引越してきて当初、畑仕事や家の改装をしている私に、近所の方が話しかけてきてくれました。意味が解らないまま、「どうも」と答えました。

昨年春、鮎谷集落に引越してきました。きれいな空気、水、山、田畑。自然が豊かなこの村で、自然と調和した暮らしをしたいと思っていたところ、村内のある方が、見ず知らずの私達のために、空き家を探し回ってくださり、鮎谷の空き家を紹介してくださ

りました。何とも難しいことです。今その空き家と田畑をお借りして、「自給自足」の生活を目指して暮らしています。化学肥料や農薬、農業機械は使用せず、季節の野菜やお米、雑穀、大豆、小麦などを作っています。

日々、自然の恵に感謝するとともに、村の人達の温かさにも感動しています。鮎谷への移住者は珍しく、さらに米国人の妻と引越してきたので「黒船襲来か」と驚いたかも知れませんが、皆さんは私たちに積極的に声をかけてくれ、とても親切に接してくれました。

娘の面倒もよく見てくれ、心から感謝しています。私たちは、ここでの暮らしを大変気に入っています。

また、「はっぴいふぁーむ」という関川村で食と農を楽しむ会の一員として、村を元気にしよう、農体験や講演会、料理教室などのイベントを行っています。他にも共同で農作業をしたり、手作りの美味しい料理で食事会をしたり、会の中で人生相談をしてくれ

たりと、信頼できる仲間が出来ました。

他にも、自宅で英会話教室を始めたり、子育てサークル「Peek-a-boo」の活動や、地元の空手の練習にも参加し、多くの素晴らしい方々に出会っています。

様々な活動と人々との出会い、そして村の豊かな自然。これらは私を日々成長させてくれ、本当に感謝しています。そして妻。遙か米国から来て、人も自然も神も全てを大切に、常に家族に愛情を注いでくれる。彼女を尊敬しています。先日、愛情を注ぐ家族が一人増えました。

政治、不況、病気、環境問題など明るい話題が少ない中、この村の豊かな自然と、人々の温かい心は、私に希望と勇気を与えてくれます。関川村が、ずっと人々に元気を与えてくれる村であることを願っています。また、冒頭のような美しい関川言葉も大切な文化。大事にしていきたいです。おらこはこれからも関川村にやっけなるすけ、みながへで色々教えてくれたへんし。

編集後記

調布市在住の漫画家・水木ご夫妻を描いたドラマの放送を記念して、同市が「ゲゲゲの鬼太郎特別住民票」を交付している。粋なはからいと遊び心に、街が活気づいている。関川村にも愛されて止まないキャラクターがいる。

「大したもん蛇」…民話に登場する大蛇を、村民が高い技術で蘇らせた。以来、竹と藁で作った世界一大きな蛇は、堂々たる風格で村を盛り上げてきた。今後、村は商標権を取得する。特産物などのブランド化も視野に入れてのこと。架空の生きものやヒーローが市民権を得て、地域の活性化に一役買っている。その背景には、創造性豊かな住民の姿がある。

「目に見えない世界を信じなさい」は水木氏の幸福論のひとつ。想像力がますます必要な時代になった。

(平田ゆ)

